

父親と自転車

小川未明

青空文庫

吉坊は、父親に、自転車を買ってくれるように頼みました。

「そんなものに、乗らなくなったって、いくらでも遊べるでないか、ほかの子供をけがさしてみい、たいへんだぞ。もうすこし大きくなってから、買ってやる。」と、父親は頭を振りました。

「清ちゃんも、徳ちゃんも、みんな自転車を持っているのに、僕だけ持っていないのだから、つまらないなあ。」と、吉坊は、いくら頼んでもむだなことを悟ると、歎息をしました。そのくせ、父親は金があれば、すぐに酒を飲んでしまうことを知っていました。

吉坊は、外へ出ると、友だちが自転車に乗って、愉快そうに走っているのを、うらやましそうにながめていました。

「あんなに風を切つて、走つたら、どんなにかおもしろいだろうな。」と、清ちゃんが、頭の髪をなびかせて、走っているのを見て、思いました。

吉坊は、両手を頭の上のせて、清ちゃんがあちらへゆけば、その方を見送り、こちらへくればまた目を放さずに、迎えていました。

「清ちゃん、吉坊の立つて、見ているのを知っていました。しかも、きょう学校の帰りに、豆腐屋の長二に、自分がいじめられているのを、吉坊が助けてくれたのを、けつして忘れませんでした。いま、吉坊がぼんやり立つてきも乗りましたそうに、自分の走るのを見ているのに気がつくとき、車をとめて、

「吉ちゃん、僕のうしろにいつしよに、お乗りよ。」といいました。

吉坊は、清ちゃんが、そういつてくれたので、どんなにありがたかったでしょう。

「いいの、清ちゃん、僕をうしろに乗せてくれる？」と、吉坊は、清ちゃんのいつたことを疑いでもするように、念をおして、それから、そのうしろに乗せてもらいました。吉坊は、清ちゃんの肩につかまりました。清ちゃんは、ハンドルを握っていました。二人は、いままでゆかなかつたような、遠方まで、一息に走ってゆくことができました。

「清ちゃん、こんな遠いところまで、たびたびきたことがある？」

「きたことはない。きょうは吉ちゃんが、いつしよだから、僕きたんだよ。」と、清ちゃんは、気強かつたのです。そして、めつたに通らない道をまわりまわって、またなつかしい自分の家の前まで帰ってくると、なんだかたいへんに遠い旅行でもしてきたように、愉快な気がしたのです。

「ありがとう。」と、吉坊は、お礼をいいました。

「吉ちゃんも今度お父さんに、自転車を買ってもらいよ。」と、清ちゃんが、いいました。

吉坊は、ただ黙って、悲しそうな顔つきをしていました。

「そうすれば、徳ちゃんと三人で走りっこをしよう。」と、清ちゃんは、吉坊の心なんかわからず、朗らかでありました。

吉坊は、学校で走りっこをすると、選手にもそんなに負けないので、走ることにかけては自信を持っていました。

「自転車さえなければ、いいんだがなあ。」と、吉坊は、考えていました。

けれど、家に帰ると、やはり、清ちゃんや、徳ちゃんたちが、自転車に乗って、遊んでいました。

「清ちゃん、自転車の走りっこをしようか。」と、徳ちゃんがいました。二人は同じような型の、赤い自転車に乗っていました。

「ああ、往來の、あっちの曲がり角まで、走りっこをしよう。」と、清ちゃんが、答えました。

そばにいた吉坊は、独り取り残されるのが悲しくなつて、

「僕は、足が早いんだよ。だから、僕もいつしよに走りっこをしよう。」といいました。

そして、二人が、自転車で走る後から、吉坊は、真つ赤な顔をして、自転車を追かけたのであります。

ちようど、この有り様を、外からもどつてきた吉坊の父親が、見たのでした。彼は、このいじらしいようすが、腹立たしくもありました。そして、にらみつけたのです。

しかし、夢中で走っている吉坊にはわからないのでした。

「ああ、おれが悪かった。」と、父親は、心の中で泣いたのでした。

「ばかめ、自転車の後をおっかけるなんて、二、三日したら自転車を買ってやるぞ。」と、その夜、父親は、吉坊の、頭をなでながら、いいました。

しばらく酒を断つた、父親は、どこからか、子供の乗る、古の自転車を、さがしてきたのであります。

青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集 10」講談社

1977（昭和52）年8月10日第1刷発行

1983（昭和58）年1月19日第6刷発行

初出：「教育・国語教育」

1935（昭和10）年8月

※表題は底本では、「父親《ちちおや》と自転車《じてんしゃ》」となっています。

入力：特定非営利活動法人はるかぜ

校正：仙酔^{あびす}

2012年7月10日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

父親と自転車

小川未明

2020年 7月18日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>